

梅若研能会



四月公演

令和5年4月20日(木) 午後1時始(開場12時)
於セルリアンタワー能楽堂
CERULEAN TOWER Noh Theater
26-1 Sakuragaokacho, Shibuya-ku, Tokyo
Thursday 20 January 2023 Start 13:00 (door open 12:00)

セルリアンタワー能楽堂

セルリアンタワー能楽堂
〒150-8512
渋谷区桜丘町26-1 地下2階
TEL 03-3477-6412
渋谷駅から徒歩5分

入場料(全席指定)

指定席A 6,500円 指定席B 5,500円

※学生席(要学生証)各席2,500円引き

お問い合わせ・お申し込み

e+(イープラス)

<https://eplus.jp/ath/word/69495>



カンフェティ TEL0120(240)540(平日10:00-18:00)

<http://www.confetti-web.com/umeken>



公益財団法人 梅若研能会

〒151-0066 渋谷区西原1-4-2 TEL 03(3466)3041

〈メールアドレス〉staff@umewakakennohkai.com

〈ホームページ〉<http://www.umewakakennohkai.com>



YouTube 演目の見どころ解説動画を公開中!



フェイスブックはじめました! 公演情報更新中!



次回予告

令和5年6月11日(日) 於 観世能楽堂

能「弓八幡」シテ 青木健一、ツレ 梅若千音世

能「海土」シテ 梅若志長、子方 長澤佑香

狂言「仏師」シテ 野村万作 仕舞三番

能「屋島」みどころ講座

4月8日(土) 14:00~15:30(開場13:45)
於・梅若万三郎家能舞台(渋谷区西原1-4-2)

受講料 1,000円(※研究会入場券購入者は無料)

講師 八田 達弥(はった たつや)

昭和37年東京生まれ。昭和60年梅若万三郎家入門。三世梅若万三郎に師事。公益財団法人梅若研能会評議員、日本能楽会会員(重要無形文化財総合指定保持者)、観世流準職分。

平成元年「吉野天人」にて初シテ以降、世田谷区・国立市・松戸市で能の普及活動に努めている。練馬区在住。



Shimai [Kakitsubata] Itô Yoshiaki
[Kashiwazaki] Aoki Ichirō
[Ukai] Tōda Osamu
Kyōgen[Neongyoku] Zenchiku Zyūrō
Noh[Yashima] Hatta Tatsuya

仕舞 柏 杜 若 伊藤 嘉章
 崎 道行 青木 一郎
 鶴 飼 遠田 修 中村 政裕
 中村 裕
 梅若万佐晴
 古室 知也

狂言 寝音曲 (一時十五分頃)

シテ(太郎冠者)善竹 十郎 アド(主 人)野島 伸仁

後見 善竹大二郎

休憩 十五分

(一時四十五分頃)
 ツレ(漁 夫)萩原 郁也
 前シテ(漁 翁)八田 達弥
 後シテ(源 義経) 能 屋 島

ワキ(旅 僧)殿田 謙吉 大鼓 柿原 弘和
 ワキツレ(従 僧)則久 英志 小鼓 幸 正昭
 ワキツレ(従 僧)野口 琢弘 笛 栗林 祐輔
 ア イ(屋島ノ浦人)善竹大二郎

梅若 泰志 梅若 志長 長谷川晴彦
 梅若 紀佳 伊藤 嘉章
 青木 健一 青木 一郎
 梅若 久紀 梅若 紀長
 後見 梅若万三郎 地謡
 加藤 眞悟

(終演予定 三時二十五分)

狂言 寝音曲 (ねおんぎょく)

謡が趣味の太郎冠者(シテ)。主人(アド)から余興に謡を所望される。今後も度々、謡わされてはかなわないと思った太郎冠者は、酒を飲み妻の膝枕でなければ謡えない、と言い出すが……。

能 屋島 (やしま)

都の僧(ワキ)が四国の屋島で出会った老漁師(前シテ)は、問われるままに往事の源平合戦の有様を語り出す。余りに詳しい物語に不審に思う僧。漁師は義経の霊であることをほのめかし姿を消す。やがて僧の夢の中に甲冑姿の義経(後シテ)が現れ屋島の合戦の様を語ると、修羅道での平教経との戦いを見せるのだった。

負け戦が多い能の修羅物の中で、勝ち戦の「田村」「籠(えびら)」と合わせて勝修羅三番などと呼ばれる。

令和5年梅若研能会 公演のご案内

六月公演は次回予告をご覧ください。

九月公演 9月21日(木)
セルリアンタワー能楽堂

十月橘香会 10月22日(日)
国立能楽堂

十一月公演 11月16日(木)
セルリアンタワー能楽堂

十二月公演 12月10日(日)
観世能楽堂